

# 教育委員会点検・評価報告書

(令和6年度対象)

令和7年8月

津島市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	
1	点検及び評価の趣旨	1
2	点検及び評価の対象	2
3	点検及び評価の方法	2
(1)	点検及び評価の視点	2
(2)	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の点検・評価	3
1	教育委員会の活動	3
(1)	教育委員会の会議の運営に関する事	3
(2)	教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	3
(3)	教育委員会と事務局との連携	3
(4)	教育委員会と市長の連携	3
(5)	学校及び教育施設に対する支援・条件整備	3
○	担当課による評価	3
2	教育委員会が管理・執行する事務	4
(1)	教育行政の運営に関する基本方針を定める事	4
(2)	教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃する事	4
(3)	教育委員会の所管に属する各種委員会委員任命又は委嘱に関する事	4
(4)	文化財の指定に関する事	4
(5)	教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関する事	5
(6)	津島市小中学校長会議に関する事	6
(7)	津島市立小中学校の2学期制に関する事	6
○	担当課による評価	6
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	8
(1)	学校教育課主要事業	8
①	いじめ問題対策委員会委員報酬	8
②	デジタル田園ロボット・ブロックプログラミング教育事業	8
③	学校施設環境整備事業	9
④	小中学校修繕事業（主な修繕事業）	9
⑤	地域学校協働本部事業（補助金）	9
⑥	教育支援センター事業	10
⑦	学校配置職員の充実	10
⑧	学校図書館図書整備事業	10
⑨	キャリアスクールプロジェクト推進事業（職場体験）	11

⑩ 就学助成事業	11
⑪ 外国語教育の充実(外国語教育・国際交流事業)	12
⑫ 総合的な基礎体力向上事業	12
⑬ 防災教育事業	13
⑭ 「郷土愛を育む 津島の達人ジュニア検定」	13
⑮ 教職員の働き方改革	13
⑯ 給食献立コンクール事業	13
⑰ 学校給食用物資選定会の実施	13
⑱ 給食費の未収金対策	13
○ 担当課による評価	14
(2) 社会教育課主要事業	15
① 生涯学習推進事業	15
② 家庭教育推進事業	16
③ 青少年事業	16
④ 文化芸術奨励事業	17
⑤ 歴史文化遺産活用事業	17
⑥ 文化財の修理・保存補助事業	18
⑦ 放課後子ども教室推進事業	18
⑧ 横井照子生誕100年記念事業	19
⑨ 文化財保存活用地域計画策定事業	20
⑩ 公民館事業	20
⑪ 生涯学習センター管理・運営事業	20
⑫ スポーツ大会・スポーツ教室事業	20
⑬ スポーツ協会、スポーツ少年団、 総合型地域スポーツクラブ活動補助事業	20
⑭ スポーツ推進計画策定事業	20
⑮ 東公園一帯整備基本構想策定事業	21
⑯ 葉苺スポーツの家スポットエアコン設置事業及び 錬成館高圧受電設備改修工事実施設計事業	21
⑰ 各種団体への行政関与の見直し事業	21
⑱ 指定管理者導入施設	21
○ 担当課による評価	22
III 学識経験者の意見	24

## I はじめに

### 1 点検及び評価の趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、令和6年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

結果を公表することにより、市民の皆様には教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

#### <参考>

##### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の対象

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条及び第 22 条に規定する教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限について、令和 6 年度の部方針書に位置づけて実施した施策・事業等の実施状況を点検及び評価の対象としています。

## 3 点検及び評価の方法

### (1) 点検及び評価の視点

教育委員会議の開催など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、施策・事業等については、妥当性及び有効性等の視点から実施状況を点検し、課題等を踏まえた今後の取り組みの方向性を明らかにしています。

### (2) 学識経験者の知見の活用

教育委員会の活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、前蟹江小学校校長の高橋央樹氏（津島市在住）、名古屋葵大学・名城大学・日本福祉大学・愛知大学 非常勤講師の三輪昭子氏の 2 名から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

## Ⅱ 教育委員会の点検・評価

### 1 教育委員会の活動

#### (1) 教育委員会の会議の運営に関すること

教育委員会議については、毎月1回「定例教育委員会」を開催した。

#### (2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるようにするため、ホームページ等を利用し、開催結果を公開し、開かれた審議を進めた。

#### (3) 教育委員会と事務局との連携

教育委員会の招集告示は委員会の1週間前としている。会議資料の提供は、個人情報が多く含まれていることから、当日配付することとしている。

#### (4) 教育委員会と市長の連携

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年度から地方公共団体の長と教育委員会で構成する総合教育会議の設置が義務付けられた。これを受け、総合教育会議を年2回開催した。また、市長部局が開催する行政経営会議、部課長連絡会議に参加した。

#### (5) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

5月定例教育委員会に学校訪問等参加計画書（前期・後期）を示し、計画訪問ができるよう調整している。

### ○担当課による評価

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 定例教育委員会を12回実施した。</li><li>(2) 定例教育委員会の議事録をホームページに掲載し広く情報発信を行った。</li><li>(3) 個人情報の取り扱いに留意し定例教育委員会を開催した。</li><li>(4) 市長と連携して、総合教育会議を開催し、「領事館事業」の取組や歴史・文化学習事業「祭りを学ぶ」、「学校施設長寿命化計画」の更新等を議題として、活発な意見交換を行った。市長部局との会議により連絡、協調が図られた。今後も各小・中学校の教育活動の現状を把握し、教育の振興を図</li></ul> |
|---|

るため総合教育会議を開催する必要がある。

- (5) 令和6年度学校訪問は8小学校、4中学校で実施することができ、委員により学校運営状況を確認した。参観では、ICTを活用して児童生徒の興味や関心を高めたり、課題を明確に把握させるなど教員の指導力向上を確認することができた。

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

### (1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること

基本方針は教育委員会の部方針書に位置づけて設定している。具体的には、学校施設の管理運営、安全・安心な学校給食の提供、学習活動の拠点整備、教育組織の適正運営、生涯学習・生涯スポーツの推進、文化財等の保存・継承・活用等である。

### (2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること

規則の一部改正2件を原案のとおり承認した。

### (3) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員任命又は委嘱に関すること

各委員の選任について、任命6件、委員の委嘱3件を原案のとおり承認した。

### (4) 文化財の指定に関すること

文化財の指定について、1件を原案のとおり指定した。

## (5) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関すること

定例教育委員会に、各議会における補正予算について報告を行った。

### <6月補正予算>

・学校地域連携教育推進事業（中学校）	100 千円
・ラーケーション推進事業	9,989 千円
・キャリアスクールプロジェクト事業（小学校）	70 千円

### <9月補正予算>

・施設管理経費（図書館費）	4,558 千円
・東公園一帯整備基本構想策定協議会委員報償費	114 千円
・東公園一帯整備基本構想印刷製本費	64 千円
・東公園一帯整備基本構想策定委託料 （令和6年度 7,095 千円、令和7年度（債務負担）	14,817 千円）

### <12月補正予算>

・人件費・報酬	
教育総務費	6,100 千円
学校教育指導費	300 千円
小学校費	9,700 千円
中学校費	4,500 千円
給食共同調理場費	7,000 千円
・光熱水費(生涯学習センター)	3,878 千円

### <3月補正予算>

・国際理解教育事業（減額補正）	△702 千円
・訪問看護委託料（減額補正）	△1,747 千円
・高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事実施設計委託料（減額補正）	△3,784 千円
・高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事監理委託料	6,050 千円
・神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事費(減額補正)	△10,263 千円
・高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事費	319,990 千円
・光熱水費（学校給食調理場）(減額補正)	△2,100 千円
・給食用賄材料費（学校給食調理場）(減額補正)	△10,000 千円
・社会教育・文化振興事業（減額補正）	△308 千円

- ・放課後子ども教室推進事業（減額補正） △1,200 千円
- ・文化財保存活用地域計画策定事業（減額補正） △5,473 千円
- ・スポーツ推進委員報酬（減額補正） △422 千円

## （６）津島市小中学校長会議に関すること

津島市立小中学校の教育振興・発展を図ることを目的として、教育委員会主催で年 11 回の定例会議を開催した。

## （７）津島市立小中学校の 2 学期制に関すること

津島市教育委員会は、行事の削減・見直しを行い、授業時間数を確保するとともに、教師が児童生徒と接する時間を増やし、学習・生活面で個々の児童生徒への支援を充実させる目的で平成 19 年度から本格的に 2 学期制を導入している。

### ○担当課による評価

（１）部方針書に基づく基本方針の施策目標及び方針

#### ◎学校教育課

##### ・特色ある教育の推進

基礎学力の向上が求められる中、子どもたちが楽しく学び、学習の意欲を高める教育が求められており、ICT（情報通信技術）教育の強化による効率的な教育や、楽しくて役に立つプログラミング教育を進めた。

また、学校を拠点とした地域との連携・協働により、子どもを地域と一緒に育てていくため、各学校・地域において地域学校協働活動やコミュニティースクールを、学校や地域の実情や特色に応じて、創意工夫をしながら進めた。領事館との交流事業や、外国語指導助手の授業を通して、国際理解教育を推進した。

##### ・心の教育推進

心理的・情緒的な要因により、不登校状態にある児童生徒及びその保護者を対象として、相談・助言・指導を行った。また、学びの場の提供や学校復帰を支援する教育支援センター（2 か所）と校内教育支援センター（ほっとルーム）（4 か所）で、きめ細かな不登校対策を展開した。

##### ・安全・安心な教育環境の整備

学校施設の環境整備・有効活用を図るなど、必要な修繕等を計画的に行

う必要があり、津島市学校施設長寿命化計画に基づき、必要な修繕及び整備を進めた。

納入業者と協力し、地産地消を実践するとともにオーガニック給食として、令和6年11月12日に市内全小中学校12校において、オーガニック食材を使用したレンコンチップスを提供した。

## ◎社会教育課

### ・生涯学習の推進

「生涯学習ガイド」を発行し、市民が活用しやすい学習情報を提供した。また、市民の学習ニーズに応えるため、県内の大学から講師を招聘し、市民大学講座を開催した。

### ・生涯スポーツの推進

スポーツ競技大会、初心者向けのスポーツ教室、気軽に参加できるレクリエーションスポーツ等、子どもから高齢者まで参加できるさまざまな事業を開催することができた。また、スポーツ施設の整備やスポーツ団体の支援を継続的に行い、生涯スポーツの推進に努めた。令和6年度には、スポーツに関する施策や事業を体系化し、総合的に推進することを目的にスポーツ推進計画を策定するとともに、計画で位置付けした施設整備方針に基づき、東公園一帯整備基本構想策定に着手した。

### ・文化財等の保存・継承・活用

文化財の所有者、管理者、保存団体等に対して、文化財の保存に係る修理や無形民俗文化財の継承のための活動を支援した。また、市が所有・管理する旧堀田家住宅について、維持管理を行うとともに、年間を通じて公開した。

### ・歴史・文化資源を活用した魅力の発信

市民が地域の文化や歴史的遺産を地域の誇りとしてとらえ、まちに愛着を持つとともに、地域の歴史や文化を魅力として市内外に発信していくため、歴史・文化遺産ホームページの運営や歴史文化遺産を紹介する案内板の整備、公開施設である堀田家住宅で「藤なみの里・つしま展」(4～5月)、「津島神社の年中行事と天王祭」(7～8月)、「ひなまつり展」(2～3月)を開催した。

(2)(3)(4) 教育委員会規則及び規程の制定・改廃、所管に属する各種委員会委員任命又は委嘱に関する事、文化財の指定について、定例教育委

員会にて審議、承認を行った。また、3月、6月、9月、12月の定例市議会の内容を直近の定例教育委員会で報告した。

(5) 津島市小中学校長会議の主な会議内容

- ・教育長から学校経営管理に関する内容について指示を行った。
  - ・様々な教育課題に対する対応等について協議を行った。
  - ・教育委員会事務局から教育行政の情報提供を行った。
  - ・教育委員会関係の予定について伝達を行った。
  - ・市主催の事業への参加について依頼を行った。
- また、事前に教育委員会指示内容の検討を行うための役員会を開催した。

(6) 2学期制実施の効果

- ・授業や活動の時間が増え、教師は児童生徒とじっくり向き合うことができ、相互理解が深まり学校生活全般の向上が見られている。
- ・ICTを活用した学習、外部講師の活用、体験学習や教育相談活動が充実し、基礎学力の定着や健全育成につなげることができている。
- ・各教科の達成度を評価するにあたり、長いスパンで児童生徒の学習活動を観察できるため、学習指導要領の趣旨のもと設定された3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）での評価を、より適切に進めることができている。

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育課主要事業

- ① いじめ問題対策委員会（委員報酬） 決算額 26,800円  
いじめ問題対策委員会（令和7年1月21日開催）を開催した。
- ② デジタル田園ロボット・ブロックプログラミング教育事業
- |                |     |            |
|----------------|-----|------------|
| 報償費            | 決算額 | 65,000円    |
| プログラミング教室事業委託料 | 決算額 | 2,921,600円 |
- 全小中学校を対象に、AI機能を持ったプログラミング可能な人型ロボット及びブロックを活用し、プログラミング教育を実施した。
- ・ICT支援員設置事業（ICT支援委託料）

I C Tによる協働的な学びを実現するため、その技術や活用に知見を有する I C T支援員を市独自で配置を行い、I C Tを活用した授業等を教師がスムーズに行えるようサポートした。

市内 8 小学校委託料	決算額	8, 448, 000円
市内 4 中学校委託料	決算額	2, 112, 000円

### ③ 学校施設環境整備事業

・高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事实施設計委託料	決算額	6, 215, 000 円
・神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事監理委託料	決算額	4, 290, 000 円
・神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事	決算額	106, 200, 000 円
・西小学校外 1 消火設備等改修工事	決算額	15, 950, 000 円
・天王中学校駐輪場新築工事	決算額	32, 545, 700 円
・L E D器具借上料（小学校費）	決算額	7, 656, 000 円
・L E D器具借上料（中学校費）	決算額	3, 828, 000 円
・器具購入費（小学校費）	決算額	10, 231, 341 円
	（うち木製製品充実化事業	5, 717, 800 円）
・器具購入費（中学校費）	決算額	5, 946, 776 円

学校施設の質的維持を図るとともに財政支出の縮減と平準化を図るため、学校施設長寿命化計画を見直した。また、高台寺小学校屋内運動場長寿命化改修工事の実施設計を行い、西小学校外 1 消火設備等改修工事、天王中学校駐輪場新築工事、神島田小学校屋内運動場屋根外壁等修繕工事を実施した。木製製品の充実化を目的に、北小学校の 6 教室に木製ロッカーを整備した。

### ④ 小中学校修繕事業（主な修繕事業）

・蛭間小学校外壁剥落防止及び外壁防水修繕	決算額	6, 380, 000 円
・神守中学校屋上タラップ修繕	決算額	3, 289, 000 円
・北小学校ベランダ立上壁修繕	決算額	2, 995, 300 円
・南小学校給食小荷物昇降機修繕	決算額	2, 486, 000 円
・西小学校南館教室床修繕	決算額	2, 750, 000 円
・暁中学校テニスコート修繕	決算額	1, 980, 000 円

児童生徒の安心・安全な学習環境の整備を実施した。

⑤ 地域学校協働本部事業（補助金）	決算額	1, 620, 000 円
-------------------	-----	---------------

地域の子どもは地域で育てることを基本とし、学校の求めに応じて、地域のボランティアが学校を支援する活動に参加できるしくみづくりを推進した。

- ・地域学校協働本部 平成 30 年度 全小中学校 設置
- ・コミュニティスクール（学校運営協議会） 全小中学校 設置
  - 平成 30 年度 神守中学校
  - 令和元年度 南小学校
  - 令和 2 年度 神守小学校・高台寺小学校・暁中学校
  - 令和 3 年度 東小学校・神島田小学校
  - 令和 4 年度 天王中学校・藤浪中学校  
西小学校・北小学校・蛭間小学校

⑥ 教育支援センター事業 決算額 41,315,178 円

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒及びその保護者を対象として、市内 2 か所の教育支援センターにて適正な相談・助言及び指導を行い、学校復帰を支援し、市内 4 中学校すべてに校内教育支援センター（ほっとルーム）を開設した。

（指導員 11 人配置 令和 6 年度教育支援センターの利用児童生徒数 18 人）

また、スクールソーシャルワーカー 1 名を配置し、様々な問題を抱える児童生徒の問題解決のため関係機関等と連携・調整を行った。

⑦ 学校配置職員の充実 決算額 147,268,160 円

小学校	96,136,827 円
中学校	51,131,333 円

学校管理業務・給食業務のため、校務員及び配膳パート職員を配置した。

また、教育支援を要する児童生徒への指導を充実するため、市雇用の支援員を市内 12 小中学校へ配置した。

校務員 17 人（再任用職員 1 人を含む。）、配膳パート 19 人、

学校支援員 40 人 計 76 人（再任用職員 1 人を含む。）

（令和 6 年 5 月 1 日現在）

⑧ 学校図書館図書整備事業 決算額 7,358,442 円

小学校	3,988,911 円
中学校	3,369,531 円

子どもたちの豊かな感性や情緒を育み、健やかな成長に資する図書を提供するため、学校図書館の蔵書数を学校図書館図書基準に見合うよう整備を進めている。

令和6年度小・中学校蔵書数（令和7年3月31日現在）

東小学校	13,240冊
西小学校	11,305冊
南小学校	9,268冊
北小学校	9,950冊
神守小学校	10,604冊
蛭間小学校	9,307冊
高台寺小学校	9,081冊
神島田小学校	8,845冊
天王中学校	12,617冊
藤浪中学校	15,912冊
神守中学校	14,138冊
暁中学校	13,392冊

- ⑨キャリアスクールプロジェクト推進事業（職場体験） 決算額 125,000円  
 若年層の進路意識の希薄さや勤労観の未発達が大きな社会問題となっている。その対策として、生徒が職業の魅力を感じ、望ましい勤労観や職業観を醸成できるように、職場体験学習を核とした中学校1年生から3年生までの系統的なキャリア教育のさらなる推進を図る目的で実施した。

中学校名	期 間		参加生徒数	協力事業所数
天王中学校	10月23日～10月25日	3日	90人	32
藤浪中学校	11月14日～11月15日	2日	126人	41
神守中学校	11月26日～11月28日	3日	166人	54
暁 中学校	6月11日～6月12日	2日	110人	47

- キャリアスクールプロジェクト推進事業（蛭間小学校） 決算額 70,000円  
 夢・希望をもち学び続ける児童の育成を目的に、パティシエをはじめ様々な働く人の体験談を聞く出前授業を6年生を対象に実施した。

⑩ 就学助成事業

要・準要保護就学援助費  
 小学校分 決算額 8,178,874円  
 中学校分 決算額 10,711,540円

小中学校の児童生徒の保護者を対象に、就学が困難な方に対し、就学援助費を補助した。

令和6年度就学援助受給者実績

就学援助受給者 (人)				児童生徒数 (人) (学校基本調査 令和6年5月1日)			全体に対する受給率 (%)		
新小学校 1年生	小学校 (ア)	中学校 (イ)	計 (ア) + (イ)	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
31	271	176	447	2,261	1,408	3,669	11.9	12.5	12.1

私立高校授業料補助事業

決算額 2,810,000 円

私立高校の保護者負担の軽減をはかり、家庭環境に関わらず、誰もが学校を選べるよう私立高校授業料補助(1人1万円)を実施した。

(令和6年度実績 281人)

⑩ 外国語教育の充実(外国語教育・国際交流事業) 決算額 18,940,652 円

外国人指導助手(4人)を配置し学校に派遣を行った。また、国際文化の交流を深めていくため、県内の領事館を通じた国際交流事業を8小学校にて実施した。神島田小学校においてはオンラインにて交流した。

令和6年度

小学校名	交流領事館	交流日
東小学校	ブラジル	令和7年2月12日
西小学校	フィリピン	令和6年11月28日
南小学校	韓国	令和6年12月17日
北小学校	カナダ	令和6年12月4日
神守小学校	トルコ	令和7年1月22日
蛭間小学校	中華人民共和国	令和7年1月22日
高台寺小学校	アメリカ合衆国	令和6年1月30日
神島田小学校	ペルー	令和6年11月26日

令和5年度 8小学校にて交流事業実施

令和4年度 8小学校にて交流事業実施

令和3年度 蛭間小(カナダ)、高台寺小(大韓民国)にて実施

令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑪ 総合的な基礎体力向上事業

基礎体力を向上し健康な身体を維持していくための取り組み(SKIP)を市内12小中学校で実施し、教員を対象にサーキットトレーニング研修を行った。

⑬ 防災教育事業

「自分の命は自分で守る」を合言葉にし、令和6年度は西小学校区及び南小学校区において地域住民の協働による総合防災訓練を実施した。希望する学校で防災講座を実施した。

各学校において、「家庭防災の日」の周知を行い、日頃から防災意識を高める取組みを行った。

⑭ 「郷土愛を育む 津島の達人ジュニア検定、ジュニア選手権」

津島市の郷土の歴史や文化を知るため、毎年1月に市内小学6年生全員が検定を受検している。令和6年度で15回目となった。さらに学習を続けたい児童は「津島の達人ジュニア歴史選手権」に挑戦した。(2月)この検定により津島市へのシビックプライドが高まっている。

⑮ 教職員の働き方改革

自己の健康を維持し、多忙感を解消するため「定時退校日」、「目標退校時間」の設定に続き、年度当初の時間割の見直し(小学校では40分5時限、中学校では45分6時限)、部活動の時間の短縮を実施した。(早朝部活の中止、平日の週1日以上の上の休止)

⑯ 給食献立コンクール事業

給食献立コンクール事業を実施した。

応募総数 小学校 571点 中学校 475点 合計 1,046点

入賞作品 12点を選び、その中より2点を給食の献立に採用した。

⑰ 学校給食用物資選定会の実施

学校給食用物資購入に際し、安全で良質な物資を安価に購入するため、毎月1回開催した。

令和6年度実績

開催数 11回(8月分を除く)

構成員(学校教育課長、給食調理場長、栄養教諭(学校栄養職員含む)5名、小・中学校給食主任3名(当番制)、調理員2名の計12名)

年間取引金額 257,018,073円

⑱ 給食費の未収金対策

給食費の未納者に対して、催告書の送付や家庭訪問を実施して徴収に努めた。

また、平成 27 年度から令和元年度にかけての未収金のうち徴収不能と判断した金額を債権放棄し、不納欠損処分を行った。

令和 6 年度末（令和 7 年 5 月 31 日現在）未収金 10 人 1,013,490 円

不納欠損処分内訳

平成 27 年度	45,900 円（1 件）	平成 28 年度	31,020 円（1 件）
平成 30 年度	5,100 円（1 件）	令和元年度	46,410 円（4 件）
合計	128,430 円（7 件）	※件数は延べ数	

### ○担当課による評価

- ① いじめ問題対策委員会を令和 7 年 1 月 21 日に開催し、現状の把握に努めることが出来たが、今後各学校においてきめ細やかな対策が必要である。
- ② 津島市では、令和 4 年度より 5 か年事業として津島プログラミングプロジェクト（TPP）を実施しており、全小中学校を対象に、AI 機能を持ったプログラミング可能な人型ロボット及びブロックを活用し、未来のデジタル社会を担う人材育成を図っている。令和 6 年度は全小中学校を対象とし、津島プログラミングプロジェクト大会を開催した。また、ICT 支援員を市独自で配置し、ICT 教育に関する教員へのサポートを積極的に支援した。今後について、令和 2 年度に立ち上げた 1 人 1 台タブレット利活用研究会を定期的で開催するなどし、情報共有を図りながらその積極的な運用に努めていく必要がある。あわせて次世代を見据えたプログラミング教育を推進していくことが求められている。
- ③ 児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう、神島田小学校の屋内運動場修繕工事、西小学校外 1 消火設備等改修工事等を行った。また、高台寺小学校の屋内運動場長寿命化改修工事実施設計を行った。次年度以降も学校施設長寿命化改修事業を計画的に実施する必要がある。
- ④ 児童の安心・安全な学習環境の施設整備を実施したが、老朽化が進んでいるため、継続的な取り組みが必要である。
- ⑤ 地域学校協働本部事業を推進し、保護者を含む地域住民が子どもの成長を支え、子どもも地域に愛着をもてるような教育環境づくりに努めた。今後については、全小中学校に設置されたコミュニティスクールを核に、地域で子どもを育てていく教育体制の構築に努めていきたい。
- ⑥ 不登校児童生徒が増加する中、教育支援センターの在り方が「学校復帰の場」から「学校以外の学びの場」へと変わってきている。タブレットを活用したり、自主学習の支援をするなど、学びの場を提供することができた。また、校内教育支援センター（ほっとルーム）を藤浪中学校、神守中学校に加え天王中学校及び暁中学校にも新設し、不登校状態にある生徒を指導・支援

した。今後もさらにセンターと学校との連携を深め、市教育支援センターとして不登校の児童生徒にきめ細かい指導を行っていく。

- ⑦ 8小学校4中学校に校務員・配膳パート・学校支援員を配置することができた。
- ⑧ 学校図書館の図書は、各学校ほぼ100%充足されている。引き続き整備内容の充実をしていく必要がある。
- ⑨ 様々な職業に関心をもつとともに、職場体験への意欲を高めることができた。働く意義や仕事をする事の辛さなど職業に対する理解を深めるとともに、あいさつ、言葉遣い、態度など、人との接し方を振り返ることができ、社会の一員としての姿勢を学ぶことができた。
- ⑩ 就学助成事業として、経済的な理由で就学が困難な方に対し、就学援助費等を補助を実施した。また、私立高校授業料補助事業を実施することで、家庭環境に関わらず、誰もが学校を選べることについて一定の効果があつた。
- ⑪ 他国の文化に触れる機会をもつことにより、国際感覚の醸成に努めた。外国籍の児童生徒のため日本語教室を支援した。
- ⑫ 子どもたちの体力は、低下傾向にあるため、継続して取り組んでいく必要がある。
- ⑬ 防災教育の必要性は年々高まってきており、日頃から防災意識を高める取組みを学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要がある。
- ⑭ 「郷土愛を育む 津島の達人ジュニア検定」を市内小学6年生全員に実施することで、郷土愛について学ぶ機会を提供することが出来た。
- ⑮ 平日の部活動の時間の短縮化、休日の部活動の縮小、会議の在り方を見直すなど教職員の働き方改革を推進することで、ある程度の改善効果があつたが、引き続き進めていく必要がある。
- ⑯ 「給食献立コンクール」の実施により、家庭の料理を家族と一緒に考え学校給食に生かすことで、より給食への関心が高まった。
- ⑰ 安全・安心な食材の確保ができ、おいしい学校給食の提供ができた。
- ⑱ 令和5年度比で832,736円の未収金減少となった。積極的な家庭訪問による徴収活動や生活状況等に応じた効果的な折衝などにより一定の徴収実績を達成することができた。一部不納欠損処分も行ったが、引き続き催告書等の文書送付や家庭訪問等を行い、未収金額の減少に取り組んでいく必要がある。

## (2) 社会教育課主要事業

- ① 生涯学習推進事業 決算額 318,780円  
市民が活用しやすい生涯学習情報誌『生涯学習ガイド』を発行し、市の施

設等に常置するとともに、ホームページに掲載した。

また、過去の受講者アンケートの回答をふまえ、大学等から講師を招いて、市民の学習意欲に応えるために市民大学講座を開設した。

テーマ	日時		場所	参加者
中世・近世の津島のすがたと人々の暮らし	6月15日(土)	午前10時00分	図書館	36人
	6月22日(土)	午前11時45分		38人

テーマ	日時		場所	参加者
『伊勢物語』から『源氏物語』へ	1月18日(土)	午後2時00分	図書館	25人
	1月25日(土)	午後3時45分		21人

テーマ	日時		場所	参加者
古代の天文学者は惑星の動きをどう説明したか	2月15日(土)	午前10時00分	図書館	25人
	2月22日(土)	午前11時45分		21人

② 家庭教育推進事業

決算額 21,980 円

令和5年度から重点地区に指定した南小学校区において、学校、家庭、地域の連携により、親子や子どもの異学年、また、世代間の交流を深める事業を実施した。

テーマ	日時	会場	受講者数
ケータイ・スマホ安全教室	7月4日(木)	南小学校	148人
命の授業	9月26日(木)		76人
交通安全教室	10月30日(水)		88人
ふれあい交通安全教室	2月6日(木)		100人

③ 青少年事業

決算額 946,149 円

関係機関と連携を図りながら青少年健全育成活動を実施した。

7月に愛知県青少年育成県民会議が主唱する青少年の非行・被害防止に取

り組む県民運動の街頭啓発活動を、第74回社会を明るくする運動（主催：津島保護区保護司会、共催：津島市更正保護女性会）と合同で実施した。

様々な社会体験や自然体験活動を通して青少年の豊かな心を育むため、青少年活動を支援する団体、高等学校のクラブ等の協力で「つしまおやこワクワク体験活動フェスティバル！」を2月1日（土）に津島市文化会館大ホールにおいて開催し、11の出展団体、378名の参加があった。また、会場で「家庭の日県民運動」として啓発活動を行った。

20歳を対象に大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます機会として、「はたちの集い」を1月12日（日）に開催し、令和6年度に20歳を迎えた510人が参加した。

④ 文化芸術奨励事業 決算額 1,125,511円

市内で活動する文化団体の相互交流を図り、各団体の組織化に努めるとともに、日ごろの活動の成果を発表する機会を設け、各自の芸能・技芸の向上や市民への芸術文化の普及のため、10月27日（日）に芸能交流会を開催する予定であったが、衆議院議員総選挙の投開票日と重なり、会場の都合により中止した。

また、芸術活動の成果発表の場を設け、芸術文化の普及・振興を図るとともに、市民が芸術活動に関心を持つきっかけとなることを目的に、11月1日（金）～4日（月・休）に文化祭美術展を開催し、101人191点の出品があった。

⑤ 歴史文化遺産活用事業 決算額 25,974,678円

市民が地域の文化や歴史的遺産に関心を持ち、地域の誇りとして保護・継承するとともに、新しい地域文化創造へと発展させるため、歴史・文化遺産ホームページ（津島市デジタル博物館）での文化財の紹介、歴史文化遺産を紹介する案内板の整備、堀田家住宅の公開等を行った。堀田家住宅観覧者数の令和6年度実績は1,669人。企画展として「藤なみの里・つしま展」（4～5月）、「津島神社の年中行事と天王祭」（7～8月）、「ひなまつり展」（2～3月）を開催した。

また、市内の文化遺産を紹介する案内板を5カ所整備した（令和5・6年度で30カ所整備）。

氷室作太夫家住居保存活用計画策定のために、現地調査など策定業務を委託するとともに、氷室作太夫家住居保存活用計画策定協議会を開催した。

津島秋祭（山車祭り）調査事業を令和5・6年度で実施した。

歴史文化学習事業として、小学校4年生から6年生までを対象に、尾張津

島天王祭について学習する「祭りを学ぶ」を愛西市教育委員会との共催で実施した。

・「祭りを学ぶ」実施状況

日にち	実施内容	受講者数
7月 7日(日)	クイズで学ぶ尾張津島天王祭、津島祭礼図屏風(複製品)鑑賞	28人
7月 28日(土)	尾張津島天王祭朝祭の見学	27人
8月 3日(土)	鉾持ち体験・鉾持ちさんへインタビュー、花付け体験	24人

- ⑥ 文化財の修理・保存補助事業 決算額 9,023,000円  
文化財の所有者、管理者、保存団体等に対する助言、文化財保存のための計画的な修理及び無形民俗文化財の保存活動を支援した。

- (1) 文化財保存事業費補助
- ・尾張津島天王祭協賛会（筏場車の宵狭間等）
  - ・宗教法人蓮光寺（絹本著色二河白道図）
  - ・津島山車保存会（布屋町山車車軸等）
  - ・津島石採祭車保存会（中部石採祭車各種提灯張替え等）
  - ・越津町町内会（神楽彫物等）
- (2) 尾張津島天王祭車楽舟行事保存事業費補助
- (3) 無形民俗文化財保存事業費補助  
(津島山車保存会、津島石採祭車保存会)
- (4) 重要文化財管理事業補助（津島神社本殿・楼門）

- ⑦ 放課後子ども教室推進事業 決算額 17,807,126円  
学校の余裕教室等を活用して、放課後における子どもの安全かつ安心な活動の場を確保し、地域の住民の参画を得ながら、さまざまな体験、交流、学習等の活動の機会を提供した。

タブレット及びプログラミング学習キットを活用し、民間企業との協働でプログラミング教室を実施した。また、地元企業及び団体と連携し、毛織物学習事業、スポーツ体験及び腹話術鑑賞など、様々なプログラムを実施した。

実施校	実施曜日	実施時間	活動場所	定員	参加者数
東小学校	月 火 水 木	午後3時 (授業終了後)	旧普通教室 (2室)	60人	42人
西小学校	火 水 木 金		旧理科室	30人	30人
南小学校	月 火 水 木		南棟1階 西側	28人	28人

北小学校	月 火 水 金	午後5時	1階西側	30人	18人
神守小学校	月 火 水 木		旧図工室	40人	39人
蛭間小学校	月 火 水 木		視聴覚室	35人	35人
高台寺小学校	火 水 木 金		生活科室	35人	32人
神島田小学校	火 水 金		体育館内 旧会議室	21人	20人

⑧ 横井照子生誕100年記念事業 決算額 1,458,471円

本市ゆかりの国際的な芸術家・横井照子の生誕100年を記念し、その節目となる年に、その偉業を顕彰することで、本市の文化振興へ向けた機運を醸成することを目的として、展覧会、ギャラリートーク、映画上映会を開催した。

また、併せて、表現や芸術に対するハードルを低くし、表現することを楽しいと感じる子どもを増やすことを目的に「表現の楽しさを見つける」をコンセプトとしたワークショップを実施した。

・展覧会「横井照子 その軌跡と世界」

(1) 展覧会

開催日：10月31日(木)～11月10日(日)

※11月5日(火)は作品入れ替えのため休み

展示作品：44作品(52点)

来場者数：1,568人

(2) ギャラリートーク

開催日：11月3日(日・祝)、10日(日)

参加者数：91人

(3) 映画「Teruko Yokoi - Art in the Making」上映会

開催日：11月3日(日・祝)、4日(月・休)、9日(土)、10日(日)

参加者数：176人

・ワークショップ「Let's Art! ～おもいをかたちに」

日にち	時間	テーマ	対象年齢	参加児童数
8月4日 (日)	9:30 ～10:30	いろんな画材にふれてみよう	5歳～小学2年生	13人
	11:30 ～12:30	いろんなテクニックを体験しよう	小学3年生～6年生	13人
8月25日 (日)	9:30 ～10:30	じっと見つめて	5歳～小学2年生	12人
	11:30 ～12:30	感じた色・かたち・ことば	小学3年生～6年生	13人

- ⑨ 文化財保存活用地域計画策定事業 決算額 4,190,199 円  
津島市文化財保存活用地域計画策定のために、策定支援業務を委託するとともに、市民アンケート調査及び文化財保存活用地域計画策定協議会等を開催した。
- ⑩ 公民館事業 決算額 3,345,614 円  
神島田公民館では、15 講座を開催し、延べ 1,059 人が受講した。その中で、「スマホ教室」や「睡眠と健康の知恵袋講座」等民間企業との連携事業を進める事ができた。公民館クラブ・同好会は、4 団体延べ 1,344 人の利用となった。  
また、官公署が主催する講座等の利用者数は延べ 680 人で、年間の利用者数は、合計で 3,741 人であった。
- ⑪ 生涯学習センター管理・運営事業 決算額 102,927,884 円  
利用者が安全に利用することができるよう屋外運動場、オムニコートの改修工事を行い、体育室にはスポットエアコン 4 台を設置し、スポーツ環境の整備を行った。また、高圧受変電設備の改修工事の実施設計を行った。誰もが気軽に利用し、スポーツ等に親しむことができる施設として、利用者の目線に立った、利用しやすく親しまれる施設づくりを進めた。年間で屋外施設は延べ 17,336 人、屋内施設は延べ 44,573 人が利用した。
- ⑫ スポーツ大会・スポーツ教室事業 決算額 3,687,051 円  
さまざまなスポーツ大会や教室を開催したほか、令和 6 年度で 3 回目となる、市出身のプロランナー・神野大地選手をコーチに招き、市民を対象としたランニングクリニックを開催した。親子 32 組 64 人、中学生以上 31 人が参加した。
- ⑬ スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ活動補助事業 決算額 9,262,301 円  
各団体の活動に補助金を支出し、幅広い世代のスポーツ振興と普及、心身の健全育成、健康づくりに寄与した。
- ⑭ スポーツ推進計画策定事業 決算額 4,730,000 円  
スポーツを楽しむ環境の充実、スポーツによる地域活性化等、今後の市のスポーツ振興のため、令和 6 年度にスポーツ推進計画を策定した。

- ⑮ 東公園一帯整備基本構想策定事業 決算額 6,351,950 円  
スポーツ推進計画に包含されているスポーツ施設整備方針を踏まえ、東公園一帯のスポーツ施設整備を検討していくための基本構想策定に着手、令和7年度の策定を目指している。
- ⑯ 葉苺スポーツの家スポットエアコン設置事業及び錬成館高圧受電設備改修工事実施設計事業 決算額 15,444,000 円  
葉苺スポーツの家に高所設置型のスポットエアコン4台を設置し、利用者のスポーツ環境を整えた。また、長寿命化のため、錬成館の高圧受電設備改修工事の実実施設計委託を行った。
- ⑰ 各種団体への行政関与の見直し事業  
スポーツ協会は、平成25年度から生涯学習センター内に事務局を移設し自主運営を行っている。他の団体についても、それぞれ行政の関わりについて見直しを継続する。
- ⑱ 指定管理者導入施設 決算額 175,353,000 円  
適正な管理運営及び施設利用者に対して満足度の高いサービスを提供するため、各施設等でモニタリングを実施した。
- (ア) 津島市立図書館  
貸出者数(65,734人)は前年度より741人減、蔵書冊数については令和6年度末で311,370冊(1,342冊増)、市内図書利用カード登録者数は30,228人であった。また、子どもの読解力向上事業の一環として、令和4年12月から導入した電子図書館の令和6年度末の電子図書数は1,780タイトル、令和6年度中の貸出回数は5,101回、閲覧回数は11,437回であった。
- (イ) 親愛集会所・永楽集会所  
町内会等地縁の団体を管理者に選定し、地域住民の生涯学習、交流の場として地域の実情に即した管理運営を行った。
- (ウ) 教育・体育施設及び都市公園  
(錬成館、児童科学館、総合プール、市営球場、市営庭球場、葉苺スポーツの家、東公園)  
健康づくりや体力づくり、生涯学習や市民の憩いの場として、安心安全な管理運営を行い、施設全体で年間約15万人以上に利用された。

## ○担当課による評価

- ① 「生涯学習ガイド」を発行し、市民が活用しやすい学習情報を提供した。また、大学と連携して講座を企画し市民大学講座を3講座を実施した。市民ニーズにあった内容で実施することにより、受講者増加に努める必要がある。
- ② 南小学校区の家庭教育推進協議会の取り組みにより、学校・家庭・地域が協力・連携して「地域全体で子どもを育て・育む」意識の醸成を図る事業を実施することができた。
- ③ 愛知県青少年育成県民会議と連携し、関係機関や団体の協力を得て啓発活動を実施した。また、各団体や高等学校の協力を得て「つしまおやこワクワク体験活動フェスティバル！」を開催し、青少年が豊かな心を育むための場を提供したほか、20歳を迎えた青年を祝い励ます「はたちの集い」を開催することができた。
- ④ 文化祭美術展を開催し、日ごろの芸術・創作活動の発表の場を提供することができた。
- ⑤ 年間を通じて堀田家住宅の公開を実施し、3つの企画展を開催するとともに、市内外に歴史や文化遺産を紹介するため、歴史・文化遺産ホームページを運営したほか、市内5カ所に案内板を整備した。また、愛西市教育委員会と共催で、尾張津島天王祭について学ぶ歴史文化学習事業「祭りを学ぶ」の開催や氷室作太夫家住居保存活用計画策定のために、現地等調査などの情報収集や氷室作太夫家住居保存活用計画策定協議会を開催した。文化財の保存・継承のためには、引き続き文化財の調査・保護・普及に努める必要がある。
- ⑥ 文化財の所有者、管理者、保存団体等に対して、助言や修理・保存に必要な費用の補助を行うことにより、文化財を保存するための計画的な修理及び無形文化財の保存活動を支援することができた。引き続き、適切な支援を行っていく必要がある。
- ⑦ 子どもの多様な学びの一つとして、タブレット及びプログラミング学習キットを活用し、子どものICT活用能力の活性化を図った。今後も子どもの安全から安心な活動の場を確保し、子どもの学びや活動の場として持続していく必要がある。
- ⑧ 本市ゆかりの国際的な芸術家である横井照子氏の生誕100年を記念した事業を展開した。一般財団法人横井照子ひなげし美術館の協力のもと、横井氏の作品を展示するとともにギャラリートークや映画上映会を同時に開催し、横井照子の認知度を高めることができた。また、芸術や表現に気軽に触れられるよう、子どもを対象としたワークショップを実施、興味を持ってもらうことができた。
- ⑨ 令和8年度の文化庁認定を目指し、文化財保存活用地域計画の策定のため

の調査・計画作成を進める必要がある。

- ⑩ 公民館教室・講座は新しく2講座増やしたこともあり、参加者は昨年比べて増加したが、リピーターが多いことが例年の課題である。
- ⑪ 誰もが快適に利用でき、スポーツ等に親しめるよう、施設の整備を行った。老朽箇所の修繕等の施設整備を引き続き行っていく必要がある。
- ⑫ 日ごろの練習の成果を発揮する場や、選手同士の交流の場を創出することができた。また令和6年度で3回目となる、地元出身のプロランナー神野大地選手をコーチとして招きランニングクリニックを開催した。現役のトップアスリートから直接指導が受けられる貴重な機会を提供することで、市民のランニング愛好者を増やし、健康づくりに寄与することができた。
- ⑬ 各スポーツ団体の活動を通じ、さまざまな世代の方々にスポーツ活動の機会を提供した。今後も市民の健康保持・増進のための支援を継続する。総合型地域スポーツクラブでは次世代の人材育成や活動場所の安定した確保等が課題となっており、関係者と課題を共有し連携を密にしていく。
- ⑭ 市のスポーツに関する現状や課題、ニーズ等を整理し、今後のスポーツ振興の方向性を明確にすることができた。またスポーツ施設の整備方針についても整理し、施設の整備を進めるにあたり、今後官民連携による整備の実現可能性を検討していく。
- ⑮ スポーツ推進計画に含まれている施設整備方針を踏まえ、東公園一帯整備に係る検討を進めていくため、東公園一帯整備基本構想策定協議会を立ち上げ令和7年2月に第1回目の協議会を開催した。今後、課題の整理、基本方針の検討、公園整備エリアの設定、対象エリア内のゾーニングの検討等を進めていく。
- ⑯ 昨今の気象状況を踏まえ、葉苧スポーツの家に高所設置型のスポットエアコンを設置したことにより、熱中症予防に寄与する等、快適なスポーツ環境を整えることができた。また錬成館の高圧受電設備について、設置から相当な年数が経過しているため、今後の安全な施設利用を見据え、改修に係る実施設計を行った。
- ⑰ スポーツ協会のさらなる自立した運営を目指す。またスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブについても同様に自立した運営を目指していく。
- ⑱ 図書館、スポーツ施設、集会所等の指定管理業務のチェックリストを作成し、モニタリングを実施するとともに定期的な打ち合わせ・情報交換を実施することにより市民満足度の向上に努めた。

### Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会の活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、前蟹江小学校校長の高橋央樹氏、名古屋葵大学・名城大学・日本福祉大学・愛知大学 非常勤講師の三輪昭子氏の2名から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

前蟹江小学校校長 高橋央樹氏

- ・津島プログラミングプロジェクト（T P P）は全国でも先進的な取組であり、コミュニケーション能力や論理的な思考力を養い自ら課題解決に向かう力を育成するために大変意義ある取組である。津島プログラミングプロジェクト大会の開催や市独自のICT支援員配置は児童生徒のプログラミング教育への興味・関心をより高めるとともにスキルアップにつながっている。今後もこの取組が一層充実するよう効果的な支援を進めていただきたい。
- ・学校施設長寿命化のための工事が計画的に進められており、将来を見通した施設管理がしっかり行われている。ただ、昨今の気象状況、特に夏場の猛暑への対応について教室と特別教室への空調設備導入は進んでいるが、屋内運動場への空調設備導入も考える必要が出てきている。児童生徒の健康面への配慮に加え、屋内運動場が災害時の避難場所に指定されている学校も多いため屋内運動場の空調設備設置も計画的に進めていってほしい。
- ・すべての中学校に校内教育支援センター（ほっとルーム）が設置されていて指導員やスクールソーシャルワーカーが配置されて相互にあるいは関係機関と連携を取りながら児童生徒の抱える問題の解決に当たっている点がすばらしい。今後も心理的な問題をはじめさまざまな問題を抱えた児童生徒は増加していくと考えられるので、さらなる充実を図っていただきたい。
- ・教職員の働き方改革について、学校支援員をはじめとした市独自の学校配置職員が多数配置されており大きな負担軽減につながっている。その一方で各学校独自の多忙化解消のための取組はやりつくしている感が出てきているのではないだろうか。働き方改革をより効果的に進めていくために、各学校における業務削減や校務支援の効果的な方策の情報を市全体で共有し、行政が支援すべき部分と各学校が個別に推進する部分について共通認識をもって取り組めるとよい。
- ・地域学校協働本部の取組は、県内でも先進的なすばらしい取組であり学校と地域の連携強化の基盤となっているとともに大きな成果を上げている。コミュニティスクールが全校に設置されたことにより、学校と地域との連携が全ての学校において一層深まっていくことを期待している。

- ・尾張津島天王祭や尾張津島秋まつりは、まきわら船が天王川を漕ぎ渡る華麗かつ幽玄な美しさ、豪華で勇壮な山車・石採祭車などに対する文化的遺産としての重要性だけでなく、地域のつながりや郷土愛・郷土への誇りを育み、地域の文化を保存・継承させていくという点においてもその重要性を感じることができる貴重な機会である。ほかにも古都津島には歴史と伝統のある貴重な文化遺産が数多く残っている。今後も子どもたちが意欲的に参加している「津島の達人ジュニア検定、ジュニア選手権」をはじめ郷土愛を育む活動と歴史文化遺産活用事業や文化財の修理・保存補助事業を充実させてほしい。
- ・ランニングクリニックはトップアスリートから直接指導が受けられる貴重な機会として多くの市民が参加しており、ランニング愛好者の増加につながっている。津島には弓道・相撲などほかにも長年継続して取り組まれているスポーツもある。ランニングをはじめいくつかの種目を核にしてトップ選手の指導を受けたり交流したりできる機会をさらに設けて、スポーツへの関心をより高めるとともに、市民が創るスポーツの街としての発展につなげていけるとよい。

名古屋葵大学・名城大学・日本福祉大学・愛知大学 非常勤講師 三輪昭子氏

- ・例年の諸活動実施に加え、それらを踏まえた評価活動を通じて真摯に教育活動に向き合い、教育活動に関わる教職員、児童生徒の未来を築こうとする姿勢に感謝する。
- ・総合教育会議開催を通じ小中学校の教育活動の現状を把握し、教育振興を図るための事業をいくつか提案し、今の時代だからこそ必要となる学習内容を検討できた。「みんなの一步で、未来づくり大作戦」として、SDGs 未来都市の中で様々な都市で注目の地域資源を有効活用しようとする動きがある。それを特に歴史・文化学習事業「祭りを学ぶ」や「領事館事業」に見ることができた。その地域の、その地域でしか学ぶことができないことを学ぶ価値は高い。このような学習によって津島を好きになり、都市を形成する人口の流れを津島に戻すことができるような持続可能なまちづくりと結果的に結びつくと思われる。まちぐるみで学習内容を作り上げていく動きを継続していただきたく思う。
- ・昨年に続きキャリアスクールプロジェクト推進事業にも注目していきたい。この世界のいろいろなモノやサービスがいろいろな人の仕事で成り立っていることを学び、そのつながりの中で学ぶこと、生きること、つながり合っていくことを体感できる機会となる貴重な学習機会であると思う。また、その学びの中で夢や希望を育む時間を作っていただきたい。これも、上記の総合

教育につながり、津島市の持続可能なまちづくりにつながる大切な部分である。職場体験だけでなく、働く人々の体験談からの気づきによって児童生徒の今後の目標形成につながると期待している。

- 安心・安全な学校生活を送るために校舎・校庭の老朽化等を点検することが多い。もちろん設備、備品の見直しや取替え作業が予算の許される範囲内で実施されるのが望ましいが、昨今の気候危機（気候変動の影響下にある高温化）災害級の暑さにより、屋外でのスポーツを行うことが、熱中症の危険にさらされる。熱中症警戒アラートが発出されることも増えたので、その予防となる準備を整える必要が出てこよう。災害備蓄品のような備えが必要となる場合があるので、ここは今後の検討をお願いしたい。
- 津島市は文化財等保存、活用が求められる地域でもあるため、地域的な調査を継続的に行い、今後の活用方策を計画的に討議していくことが必要である。この地域でしか得られない地域資源の発掘とそこに集う関係人口により津島市の賑わい地区の創造が期待でき、まちづくりの一環として機能すると思われる。
- スポーツ推進関連計画の様々な取り組みは、例えば様々な世代の方々の健康維持のために日常的なスポーツ活動を取入れる分野のスポーツ分野だけでなく、地元や近隣地域出身のプロのスポーツ経験者の活用機会をつくり子ども世代にスポーツの楽しさを醸成することが期待できるので、今後も継続実施していただきたい。